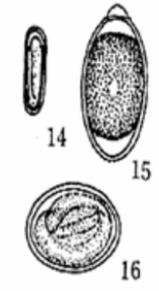


実験動物の技術と応用 実践編 増刷(第四刷)にあたっての修正点

頁	行/図表番号等	修正前	修正後
p.4	右欄 GLP 基準 2 行目	厚生省	厚生省(現・厚生労働省)
p.6	5 適正な動物実験 18 行目	「Guide for the Care and Use of Laboratory Animals, 7ed, 1996」	「Guide for the Care and Use of Laboratory Animals, 8ed, 2010」
p.14	5. 実験後の処置 7 行目	「動物の処分方法に関する指針」	「動物の殺処分方法に関する指針」 ( <a href="http://www.nichidokyo.or.jp">http://www.nichidokyo.or.jp</a> )
p.14	5. 実験後の処置 16 行目	エンドポイント	人道的エンドポイント
p.28	右欄 各種動物の心拍数と血圧		(出典追記) 「実験動物の生物学的特性データ」、田嶋嘉雄監修、p.16、ソフトサイエンス社、1989 年
p.89	図 5-2 図最下部	乾燥機	粉碎機
p.95	表 6-1 マウス 体重 25g<の床面積/匹	96.75cm <sup>2</sup> ≦	96.70cm <sup>2</sup> ≦
p.95	表 6-1 ラット 体重<100g の床面積/匹	109.65cm <sup>2</sup>	109.60cm <sup>2</sup>
p.95	表 6-1 ハムスター 高さ(すべて)	15.3	15.2
p.95	表 6-1 ハムスター 体重 100g<の床面積/匹	122.55cm <sup>2</sup> ≦	122.50cm <sup>2</sup> ≦
p.95	表 6-1 モルモット 体重 350g<の床面積/匹	651.45cm <sup>2</sup> ≦	651.50cm <sup>2</sup> ≦
p.95	表 6-1 ウサギ 高さ(すべて)	35.6	40.5
p.95	表 6-1 ウサギ 体重 4kg までの床面積/匹	0.27m <sup>2</sup>	0.28m <sup>2</sup>
p.95	表 6-1 ウサギ 体重 5.4kg までの床面積/匹	0.36m <sup>2</sup>	0.37m <sup>2</sup>
p.95	表 6-1 ウサギ 体重 5.4kg<の床面積/匹	0.45m <sup>2</sup> ≦	0.46m <sup>2</sup> ≦
p.95	表 6-1 ネコ 高さ(すべて)	61	60.8
p.95	表 6-1 ネコ 体重<4kg の床面積/匹	0.27m <sup>2</sup>	0.28m <sup>2</sup>
p.95	表 6-1 ネコ 体重 4kg<の床面積/匹	0.36m <sup>2</sup> ≦	0.37m <sup>2</sup> ≦
p.95	表 6-1 イヌ 体重<15kg の床面積/匹	0.72m <sup>2</sup>	0.74m <sup>2</sup>
p.95	表 6-1 イヌ 体重 30kg までの床面積/匹	1.08m <sup>2</sup>	1.20m <sup>2</sup>
p.95	表 6-1 イヌ 体重 30kg<の床面積/匹	2.16m <sup>2</sup> ≦	2.40m <sup>2</sup> ≦
p.95	表 6-1 文献	「実験動物の管理と使用に関する指針 第 7 版」、鍵山直子、野村達次監訳、ソフトサイエンス社、1997 年	「実験動物の管理と使用に関する指針 第 8 版」、社団法人日本実験動物学会監訳、アドスリー、2011 年
p.110	図 7-2 図のタイトル	P1A～P3A レベルの実験室概略図	P1～P3 レベルの実験室概略図
p.110	図 7-2	P1A、P2A、P3A	それぞれ P1、P2、P3
p.110	図 7-2	(追記)	※動物飼育室の場合には P1A、P2A...のように A をつける(A は Animal の意)。
p.110	右欄 わが国における病原体の取り扱いや安全管理に関連する規制、指針 7、8 行目	日本細菌学会バイオセーフティ指針(2000 年 (社)日本細菌学会)	日本細菌学会病原細菌に関するバイオセーフティマニュアル(2007 年 (社)日本細菌学会)
p.117	右欄 表 7-2 ウサギ 高さ(すべて)	36.6	40.5
p.117	右欄 表 7-2 ウサギ 体重 4 までの床面積/匹	0.27	0.28

p.117	右欄 表 7-2 ウサギ 体重 5.4 までの床面積/匹	0.35	0.37
p.117	右欄 表 7-2 ウサギ 体重 5.4<の床面積/匹	0.45	0.46
p.117	右欄 表 7-2 ネコ 高さ(すべて)	61.0	60.8
p.117	右欄 表 7-2 ネコ 体重<4の床面積/匹	0.27	0.28
p.117	右欄 表 7-2 ネコ 体重 4<の床面積/匹	0.36	0.37
p.117	右欄 表 7-2 イヌ 体重<15の床面積/匹	0.72	0.74
p.117	右欄 表 7-2 イヌ 体重 30 までの床面積/匹	1.08	1.2
p.117	右欄 表 7-2 イヌ 体重 30<の床面積/匹	2.16	2.4
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 1	体重:1 まで / 床面積/匹:0.15 / 高さ:50.8	体重:1.5 まで / 床面積/匹:0.20 / 高さ:76.2
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 2 床面積/匹	0.27	0.28
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 3 床面積/匹	0.39	0.40
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 4 床面積/匹	0.54	0.56
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 5	体重:25 まで / 床面積/匹:0.72 / 高さ:91.5	体重:20 まで / 床面積/匹:0.74 / 高さ:91.4
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 6	体重:30 まで / 床面積/匹:0.90 / 高さ:116.9	体重:25 まで / 床面積/匹:0.93 / 高さ:116.8
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 7	体重:30< / 床面積/匹:1.35 / 高さ:116.9	体重:30 まで / 床面積/匹:1.40 / 高さ:116.8
p.117	右欄 表 7-2 サル類 グループ 8	(追記)	体重:30< / 床面積/匹:2.32 / 高さ:152.4
p.117	右欄 表 7-2 文献	「実験動物の管理と使用に関する指針 第 7 版」、鍵山直子、野村達次監訳、p.29、ソフトサイエンス社、1996 年	「実験動物の管理と使用に関する指針 第 8 版」、社団法人日本実験動物学会監訳、p.65-68、アドスリー、2011 年
p.128	表 7-4 高性能エアフィルター 適応粉塵粒径	1 以上	1 以下
p.128	表 7-4 超高性能エアフィルター 適応粉塵粒径	1 以上	1 以下
p.128	表 7-4 文献	「ガイドライン—実験動物施設の建築及び設備」、日本建築学会編、p.56、アドスリー、1996 年	「最新版ガイドライン—実験動物施設の建築及び設備」、日本建築学会編、p.54、アドスリー、2007 年
p.194	右欄 麻薬および向精神薬取締法 3 行目	...、麻薬金庫に...	...、麻薬研究者免許の取得および麻薬金庫に...
p.227	最下行	普通の飼育...	コンベンショナルの飼育...
p.241	右欄 表 1-6 体重 25<の床面積	96.76≦	96.7≦
p.241	右欄 表 1-6 文献	「実験動物の管理と使用に関する指針 第 7 版」、鍵山直子、野村達次監訳、p.29、ソフトサイエンス社、1996 年	「実験動物の管理と使用に関する指針 第 8 版」、社団法人日本実験動物学会監訳、p.65、アドスリー、2011 年
p.270	(7)生殖器系 2)雌 1 行目	膣閉鎖膜	膣閉塞膜
p.275	10 実験手技 1. 麻酔法 (1)吸入麻酔法 1~3 行目	短時間麻酔には、エーテル(ジエチルエーテル)が用いられるほか、吸入麻酔薬としては、.....長時間の麻酔が可能である。	吸入麻酔薬としては、...長時間の麻酔が可能である。現在、エーテル(ジエチルエーテル)の使用は控えられ、他の吸入麻酔薬を使用することが推奨されている。
p.275	表 3-3 皮肉投与法の投与容量	0.5ml/箇所 以下	0.2ml/箇所 以下 一般には 0.05~0.1ml
p.277	12 行目	(2)浅背側中足静脈および耳介血管からの採決	(2)浅背側中足静脈および耳介静脈からの採決
p.282	表 4-3 妊娠期間	15~17 日	15~16 日
p.282	表 4-3	(表の下に追記)	備考:妊娠期間は、夕方雌雄同居、翌朝に膣栓を確認し、確認した日を 0 日として起算。

p.282	表 4-3 文献	「実験動物の基礎と技術 II 各論」、(社)日本実験動物協会編、p.57、丸善、1989年	「実験動物の基礎と技術 II 各論」、(社)日本実験動物協会編、p.57、丸善、1989年、一部改変
p.294	表 5-1 体重	GOT	AST※
p.294	表 5-1 体重	GPT	ALT※
p.294	表 5-1	(追記)	※AST(GOT)、ALT(GPT)
p.302	(1)色素塗布法 最下行 (文の追記)	...持続性がない。	...持続性がない。ピクリン酸は、化学物質安全性データシートにおいて劇的に指定されているので、取り扱いに注意が必要である。
p.303	(2)入墨法 1行目	入墨法は生涯識別法で、...	入墨法は永久識別法で、...
p.311	下から5行目	アルブミン量、GOT・GPT・BUN 活性値などの...	アルブミン量、AST(GOT)・ALT(GPT)・BUN 活性値などの...
p.312	表 6-4 項目	GOT	AST※※
p.312	表 6-4 項目	GPT	ALT※※
p.312	表 6-4	(追記)	※※AST(GOT)、ALT(GPT)
p.323	14~15行目	...高い浸出液(腹水)が体腔に貯留する浸出型と種々の実質臓器に灰白色結節(肉芽腫)病変を作る非浸出型がみられる。	...高い浸出液(腹水)が体腔に貯留する浸出型と種々の実質臓器に灰白色結節(肉芽腫)病変を作る非浸出型がみられる。
p.324	図 7-1	14、15、16 の表示について修正	右図参照 
p.327	8 輸送方法 1~2行目	「実験動物の飼養及び保管等に関する基準」	「実験動物の飼養及び保管ならびに苦痛の軽減に関する基準」
p.327	8 輸送方法 2行目	平成6年5月	平成18年12月
p.328	3. 妊娠、分娩 1行目	妊娠期間は58~69日程度の幅があるが、	妊娠期間は58~69日で、幅がある。
p.341	表 8-5 豚繁殖・呼吸症候群の外見所見	激しい複式呼吸、	激しい腹式呼吸
p.341	表 8-5	(最下段に追記)	病名:口蹄疫(法) / 外見所見:発熱、流涎、口、蹄等に水泡 / 病原体:Picornaviridae Aphthovirus
p.345	表 9-1 ミドリザルの学名	<i>Cercopithecus aethiops</i>	<i>Cercopithecus aethiops</i>
p.345	表 9-1 コモンリスザルの学名	<i>Saimiri sciurea</i>	<i>Saimiri sciureus</i>
p.348	2. 解剖学的特徴 1~6行目	マカク属のサル類の解剖について述べる。脊椎数は、...別れている。肺は、左葉が前葉(尖葉)、中葉(心葉)、後葉(横隔膜葉)の3部分に、そして右葉は、このほかに中間葉があり合計4部分に別れている。	マカク属のサル類の脊椎数は、...別れている。右肺は、前葉(上葉)、中葉、後葉(下葉)、副葉の4葉、左肺は、前葉(上葉)、後葉(下葉)に分かれている。ただし、左肺前葉(上葉)は大きなくびれが入っているため、外観的には2つに分かれて見える。
p.360	(2)ウズラ 1)外形 3行目	雄の胸の羽毛は黄褐色で...	胸の羽毛は黄褐色で...
p.363	3 飼育管理 1. 器具・器材 2行目	育離器	育雛器
p.364	2. 飼育管理作業 3)給水 1行目	育離器	育雛器
p.364	2. 飼育管理作業 3)給水 1行目	中離	中雛
p.367	右欄 採決のポイント 2~3行目	上膊静脈	上腕静脈
p.367	6 実験手技 (2)ハト ①採血	上膊静脈	上腕静脈
p.367	6 実験手技 (3)ジュウシマツ・キンカチョウ ①採血	上膊静脈	上腕静脈
p.369	(2)メダカ 7行目	...広く用いられ近交系も作出された。	...広く用いられ、近交系も作出された。
p.391	◆チ◆	膣閉鎖(塞)膜	膣閉塞膜